取扱説明書

CDラジオカセットレコーダー／プレーヤー

商品型番：CD-307（シー・ディー）

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

安全のために ---- 2・3
使用上のご注意 ---- 4・5
お手入れのしかた ---- 5
各部のなまえ ---- 6
テープを聴く ---- 7
CDを聴く ---- 8・9
ラジオを聴く ---- 10
CDを録音する ---- 11
ラジオを録音する ---- 12
マイクを使う ---- 13
故障かな？と思ったら ---- 14・15
主な仕様 ---- 16
保証とアフターサービス ---- 16

安全のために

本製品は安全に十分配慮して設計されていますが、まちがった使い方をすると、火災や感電などにより、人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書には次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。

⊘ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。

● の記号は「しなければならない行為」を示します。

⚠ 警 告

交流100V以外の電圧では使用しない

自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。

コードをコンセントから抜く

雷が近づいたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードを傷つけない

コードが破損し、火災・感電の原因になります。

分解禁止

この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。

CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

水ぬれ禁止

近くに水の入った花瓶などを置かないようにするとともに、水がかかるような場所では使わないこと。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

内部に小さな金属類（ヘアピンなど）や燃えやすいものを入れない

火災・感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないこと。感電の恐れがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。

雷が鳴ったら屋外で使わない

落雷のおそれがあります。

点検・修理

万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください（有料）。そのまま使用すると火災等の原因になります。

乾電池は同一の新品を使用

仕様の異なる電池や使用した電池を混ぜて使用すると、液漏れにより汚損や故障の原因になります。

注 意

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。背面の放熱孔をふさがないようご注意ください。

ぐらついた台や傾いた所に置かない

落下しケガ・故障の原因になります。

温度の異常に高い場所で使用しない

また、通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。

調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電・故障の原因になることがあります。

駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しない

樹脂部品が変形する原因になります。

電源コードをコンセントから抜く

長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

電源を切る前には音量を下げる

再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。

ひび割れ、変形したディスクやハート型などの特殊形状のディスクは使わない

高速回転しますので、飛び散ったり、飛び出したりしてけがの原因になることがあります。
接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。

電池は正しく取り扱う

・＋－は正しく入れる。
・長時間使用しないときは取り出しておく。

電池は誤った使い方をしない

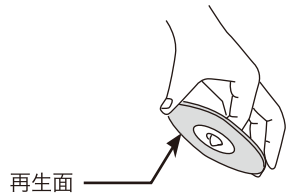
・新、旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない。
・加熱、分解したり、水、火の中に入れたりしない。
・ネックレスなどの金属物と一緒にしない。
・乾電池の代用として充電式電池を使わない。
・被覆のはがれた電池は使わない。
・取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより、火災や周囲汚損の原因　になります。
・万一液漏れが起こったら、販売店にご相談ください。
・液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

●CD

・　のマークが入ったものをご使用く ださい。
・本機を持ち運びするときはディスクを必ず取り出してください。入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。
・シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでくだい。ディスクを痛める原因となります。
・再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
・ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

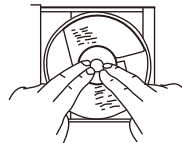
・ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。

・再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。
・CD-R/CD-RWに記録されたディスクの再生は、記録状態により再生できない場合があります。また、再生できた場合でも、再生状態が不安定になる場合があります。
・コピーガード付きのディスクは、再生できないがあります。
・再生面には手をふれないでください。

【ケースから取り出すとき】

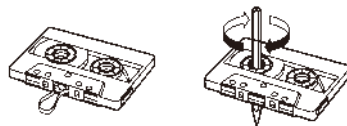
センターホルダーを押さえ

再生面に触れないように持って取り出します。

【ケースにしまうとき】

印刷面を上にして

上から押さえて入れます。

●カセットテープ

・再生中に音が鈍くなったときは、まれに酸化物や異物がテープに付着している場合があります。その場合は、ヘッドクリーニングテープのご使用をおすすめします。その際、磨耗を起こす恐れがありますので、使いすぎにはご注意ください。
・先のとがったもので付着物をはがそうとしないでください。
・テープが緩んでいるとからまり、テープを損傷するおそれがあります。図のように鉛筆などで直してからご使用ください。

・テープの巻きつきがきついと感じるときは、テープの窓に線が詰まっているように見えます。そのときは、一度テープを早送りして巻き戻ししてください。
・テレビやスピーカーなど、磁気のそばにテープを置かないでください。磁気はテープの感度を下げ、録音を消すおそれがあります。
・温度や湿度が高いところや、ほこりが多い場所には長時間放置しないでください。
・TYPE1(ノーマル)テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。

<大切な録音を守る-誤消去防止>
ツメを折ると録音ができなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。
穴をセロハンテープなどでふさげば、再び録音ができます。

<長時間テープをお使いのときは>
60分を超えるテープは使用しないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。

●本体

・本機のスピーカーには強力な磁石を使っていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
　時計、クレジットカードなどの磁気カード、カセットテープなどの磁気テープ
・極端な湿度、日差しの強い場所には放置しないでください。
・窓を閉め切った自動車内での放置はしないでください。

<結露について>
本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部が結露し、本来の性能を発揮できなくなることがあります。このような場合は、1時間ほど放置後に使用するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

お手入れのしかた

※クリーニングの前に必ず本機の電源を切ってください。

●本体

乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤の水溶液に浸した布を固く絞って拭いてください。
ベンジン・アルコール・シンナーなどの化学薬品は使わないでください。(変色や変質の恐れがあります。)

●CDプレーヤー・レンズ部のクリーニング

レンズの汚れが原因で音飛びが起きたり、再生ができなくなった場合にクリーニングをしてください。

◎ゴミやほこりがついた場合
市販のブロワーでレンズを2, 3回吹き、ブラシでゴミをはき出します。最後にもう一度、ブロワーでレンズを吹いてください。

◎指紋などがついた場合
ブロワーで汚れがとれないときには、市販のレンズクリーナー液を綿棒につけ、レンズの中心から外側に向かって円を描くように拭いてください。
＊クリーナー液を綿棒につけすぎないようにご注意ください。クリーナー液が本体内部に流れ込むと、故障の原因になります。
＊レンズは軽く拭いてください。綿棒を強く押しつけると、レンズに傷がつくことがあります。

●カセットレコーダー部のクリーニング

カセットテープを良い音でお楽しみいただくために、ヘッド・ピンチローラー、キャプスタン(カセット収納部)をいつもきれいにしておいてください。これらが汚れていると、音が歪んだり、小さくなったり、録音できない、などの現象が起こります。
このようなときは次の手順で清掃してください。

1. 停止/取出ボタンを押してカセットドアを開けます。カセットテープが入っているときはテープを取り出します。
2. 綿棒に市販のヘッドクリーニング液を少し含ませ、ヘッド・ピンチローラー、キャプスタンをていねいに拭いてください。
3. ヘッド・ピンチローラー、キャプスタンが乾いてから、カセットテープをご使用ください。

各部のなまえ

上面

前面

電源ランプ
FMステレオランプ
内蔵マイク
スピーカー
カセットテープドア
CD操作ボタン

右面

背面

マイク音量調節
ダイヤル

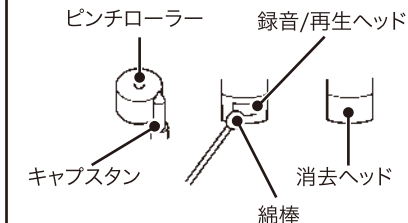
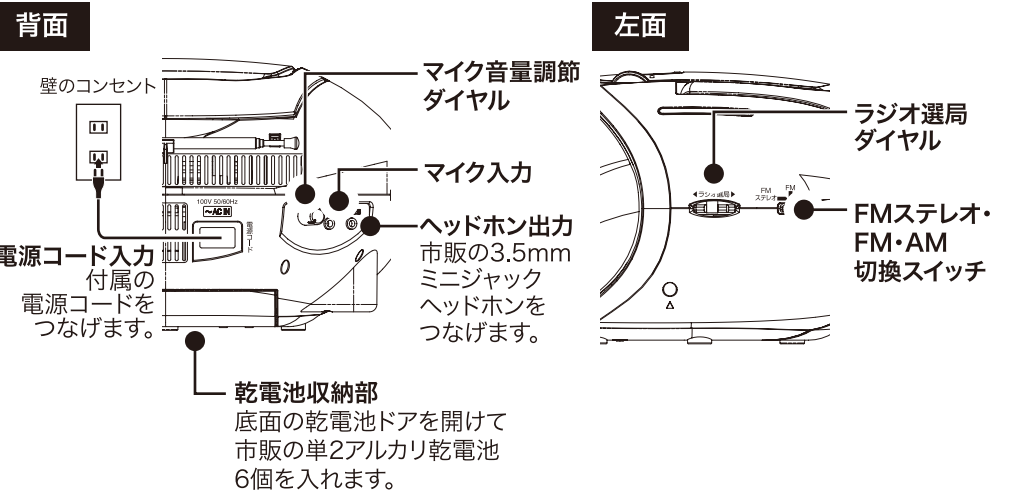
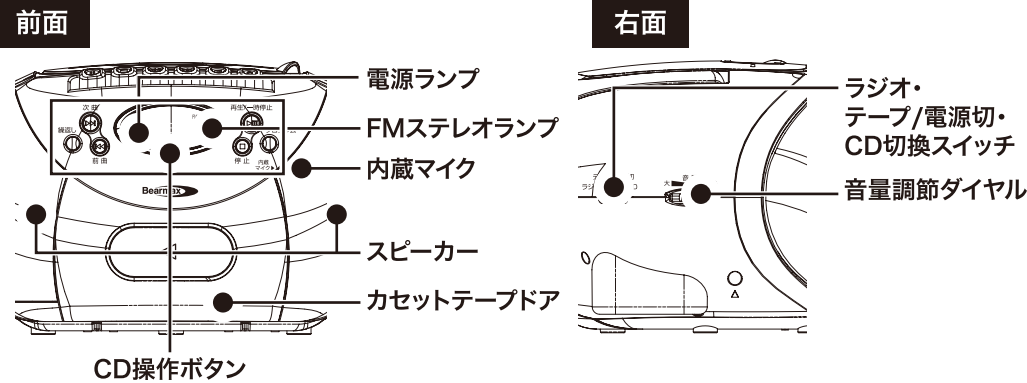
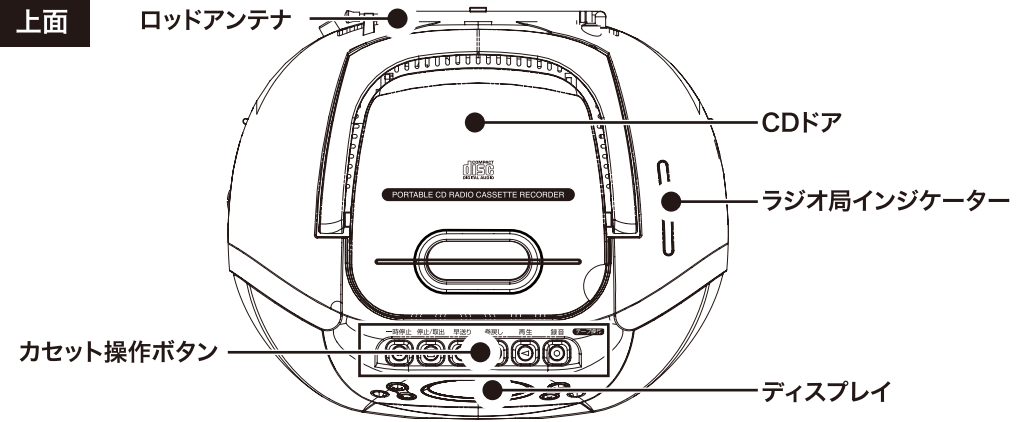
マイク入力

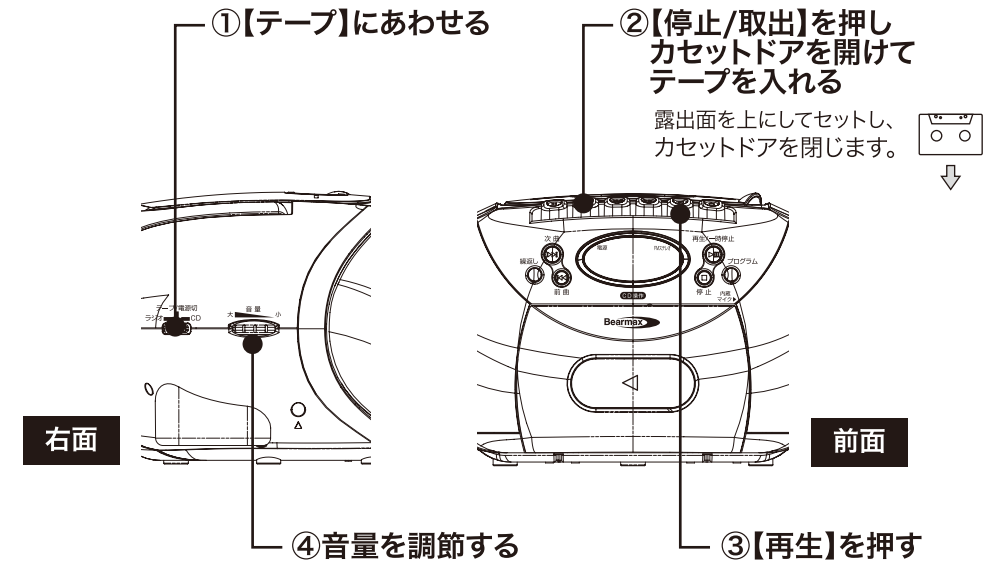
ヘッドホン出力
市販の3.5mm
ミニジャック
ヘッドホンを
つなげます。

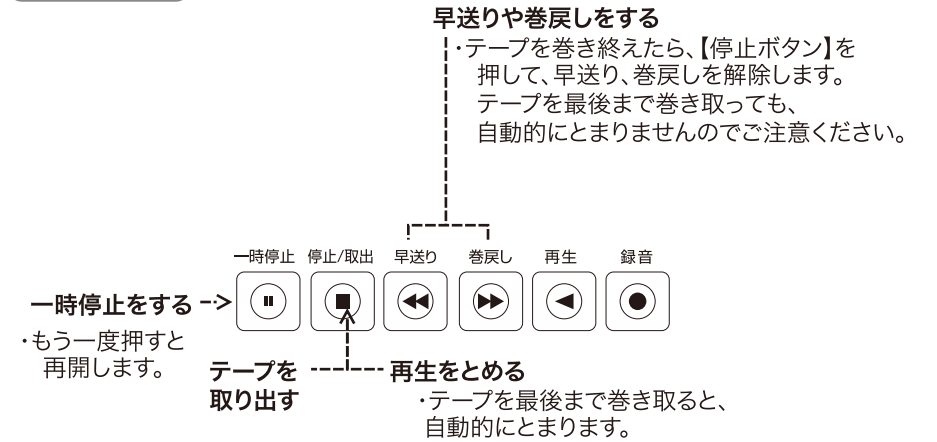
乾電池収納部
底面の乾電池ドアを開けて
市販の単2アルカリ乾電池
6個を入れます。

左面

ラジオ選局
ダイヤル

FMステレオ・
FM・AM
切換スイッチ

テープを聴く —ノーマルテープ専用

＊室内では、乾電池ではなく付属の電源コードをご使用ください。

※TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。
※60分を超えるテープは使用しないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。

その他の操作

CDを聴く

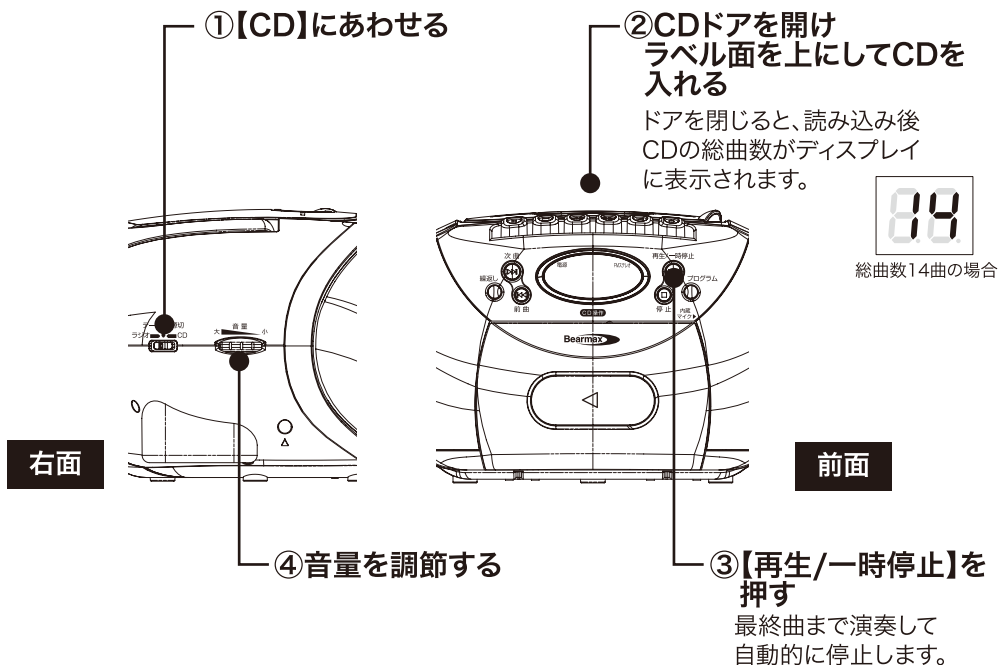
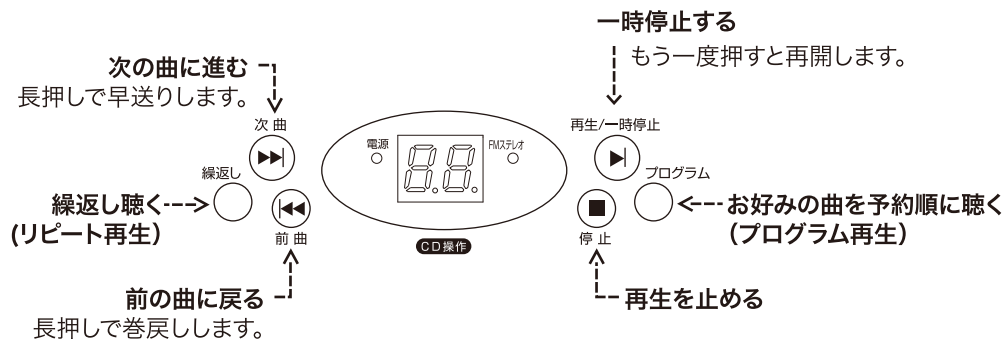
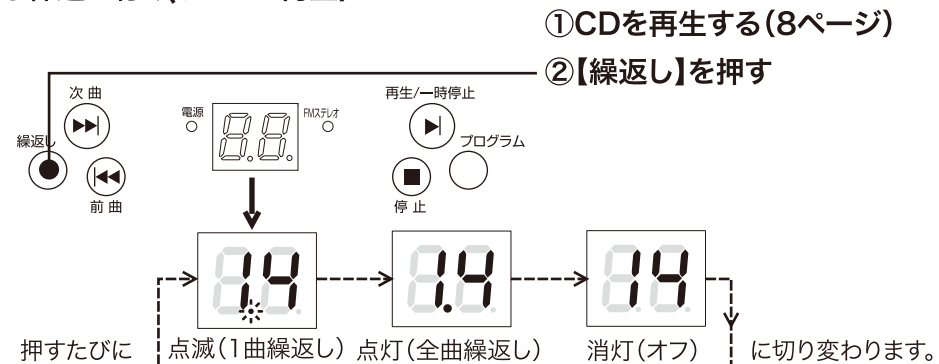
＊室内では、乾電池ではなく付属の電源コードをご使用ください。

その他の操作

●繰返し聴く(リピート再生)

①CDを再生する(8ページ)

②【繰返し】を押す

押すたびに 点滅(1曲繰返し) 点灯(全曲繰返し) 消灯(オフ) に切り変わります。

●お好みの曲を予約順に聴く(プログラム再生)

最大20曲まで予約できます。

①CDをセットする(8ページ)

②停止の状態で【プログラム】を押す

予約番号1が点滅します。

③【前曲/次曲】を押して
予約したい曲番を表示させる

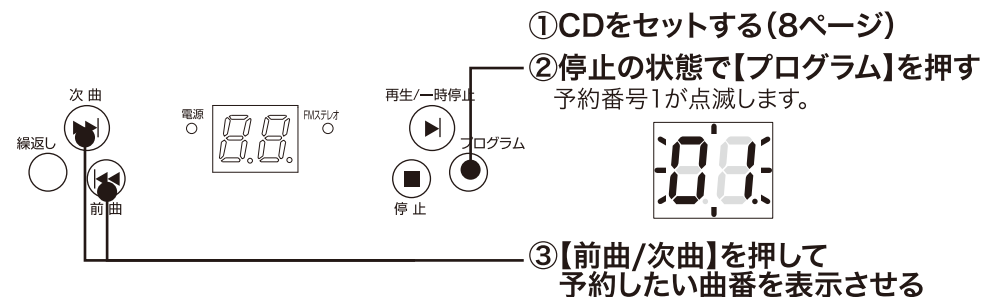
3曲目を予約する場合

④【プログラム】を押して確定する

予約番号2が点滅します。

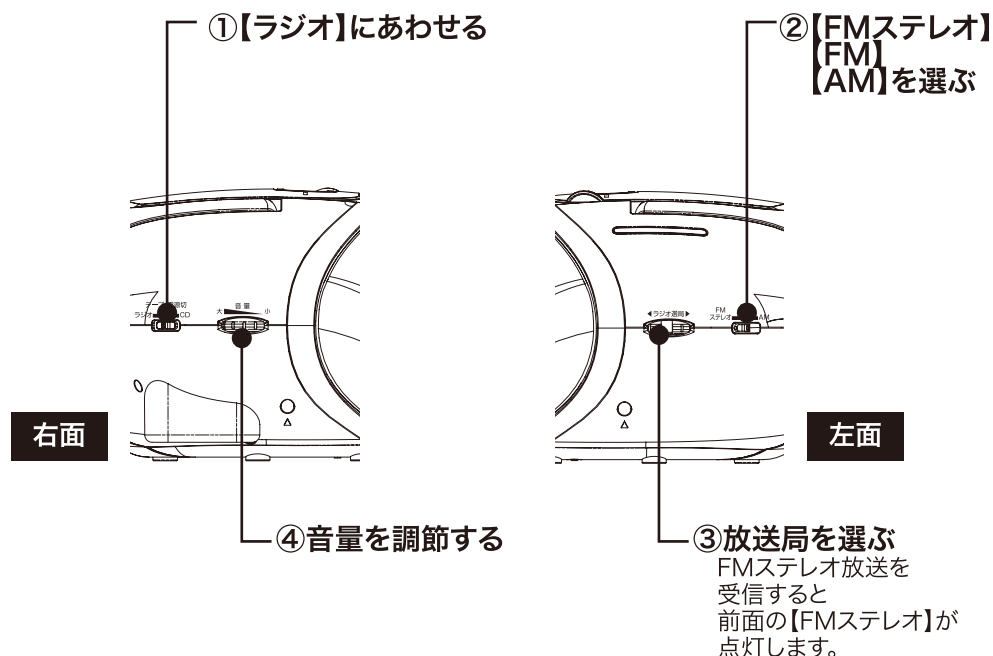
⑤ ③〜④を繰り返して続けて予約する

⑥【再生】を押す

プログラム再生中はランプが点滅します。

○プログラムの内容を取り消すには

プログラム再生中に【停止】を2回押します。

ラジオを聴く

＊室内では、乾電池ではなく付属の電源コードをご使用ください。

お知らせ

・本機はFMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。
　AM放送はモノラルになります。

・受信状態をよくするには
　<FMラジオの場合>
　　ロッドアンテナを伸ばし、向きを変えます。

　<AMラジオの場合>
　　本体をもっとも受信状態の良い方向へ向けます。

CDを録音する―ノーマルテープ専用

①【停止/取出】を押し、カセットドアを開けてテープを入れる（7ページ）

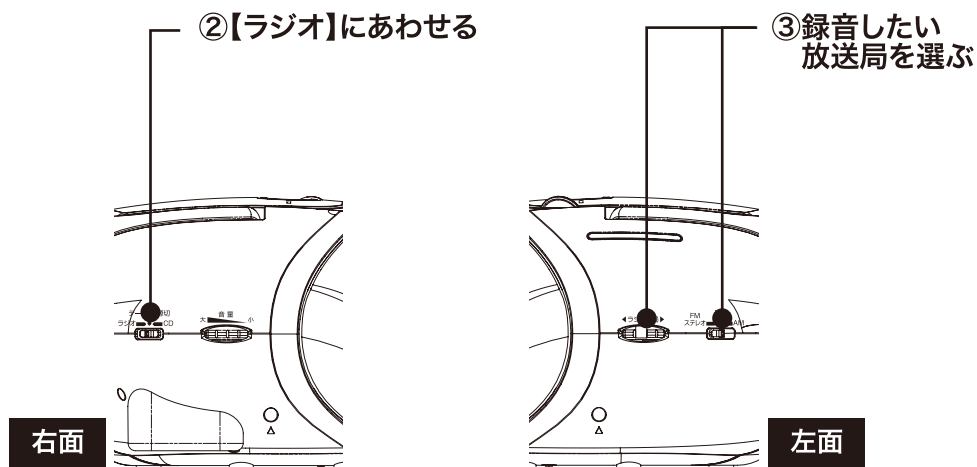
○録音をとめるには

テープ操作部の【停止/取出】を押します。

お知らせ

・録音中音量を変えても録音される音量は変わりません。
・録音するときは、乾電池ではなく、付属の電源コードを使用することをおすすめします。
・TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは
　使用できません。
・60分を超えるテープは使用しないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。
・テープのツメが折れていないことを確認してください。
　ツメが折れているテープに録音するときは、セロテープで穴をふさいでください。

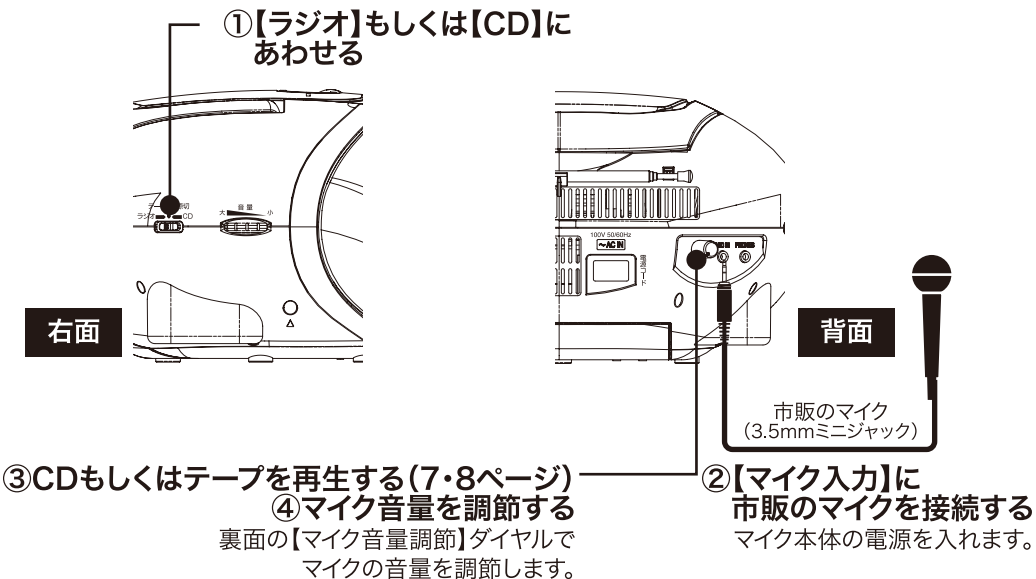
ラジオを録音する　ーノーマルテープ専用

①【停止/取出】を押し、カセットドアを開けてテープを入れる（7ページ）

○録音をとめるには

テープ操作部の【停止/取出】を押します。

お知らせ

・録音中音量を変えても録音される音量は変わりません。
・録音するときは、乾電池ではなく、付属の電源コードを使用することをおすすめします。
・TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは
　使用できません。
・60分を超えるテープは使用しないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。
・テープのツメが折れていないことを確認してください。
　ツメが折れているテープに録音するときは、セロテープで穴をふさいでください。

マイクを使う

○録音するには

テープ操作部の【停止/取出】を押し、カセットドアを開けてテープを入れます。（7ページ）

お知らせ

・録音するときは、乾電池ではなく、付属の電源コードを使用することをおすすめします。
・TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは
　使用できません。
・60分を超えるテープは使用しないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。
・テープのツメが折れていないことを確認してください。
　ツメが折れているテープに録音するときは、セロテープで穴をふさいでください。
・市販のマイクは、600Ω／3.5mmピンジャックをご使用ください。

故障かな?と思ったら

お客様ご相談センターにご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。
ご不明な点があるときは、保証書にある総発売元へお問い合わせください。

共通

電源が入らない。	・電源コードをコンセントにしっかり差し込む。 ・乾電池が正しく入っているか確認する。 ・乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。
音が出ない。	・音量を調節する ・スピーカーで聞くときは、ヘッドホンをヘッドホン端子から抜く。
雑音が入る。	・携帯電話などを本機から離して使用する。

CD部

演奏が始まらない。	・CDドアが閉まっていることを確認する。 ・乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。 ・文字のある面を上にCDをセットする。 ・CDのクリーニングをする。 ・レンズに水滴がついている →CDを取り出してCDドアを開けたまま1時間くらい置く。 ・CD-Rでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。 ・著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。
音がとぶ。 雑音が入る。	・CDのクリーニングをする。 ・CDに傷がある→CDを取り換える。 ・振動のない場所に置く。
no が表示される	・文字のある面を上にCDをセットする。

カセットテープ部

操作ボタンを押してもテープが動かない。	・カセットドアをきちんと閉める。 ・テープ露出面を上にしてセットする。
録音ができない。	・カセットを正しく入れる。 ・カセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。
雑音が多い。 音質が良くない。	・乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。 ・消去ヘッド/ピンチローラー/キャプスタンをクリーニングする。 ・市販のヘッド消磁器を使ってヘッドを消磁する。
音が歪む	・TYPE II(ハイポジション)またはTYPEIV(メタル)テープは、お使いになれません。TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。
カセットテープが絡まる	・ピンチローラやキャプスタンに汚れが付着すると、テープの巻き込みが発生しやすくなります。柔らかい綿棒で丁寧に汚れを拭いてください。 ・60分を超えるテープは使用しないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。

ラジオ部

雑音が入る。	・乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。 ・アンテナの向きを調節する。 ・本機の向きを調節する。 ・FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によって雑音が多くなります。 ・テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くでFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。 このようなときは、本機をテレビから離してください。 ・お住まいの地域や建物環境によって受信しにくい場合があります。
FM受信時、 ステレオにならない。	・ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。

主な仕様/ 保証とアフターサービス

電源:	AC100V 50/60Hz　DC9V(単2乾電池6個使用)
消費電力:	14W
実用最大出力:	1.8W+1.8W
受信周波数:	FM;76～90MHz　AM;522～1629KHz
アンテナ:	FM;ロッドアンテナ　AM;内蔵フェライトバーアンテナ
出力端子:	ヘッドホン出力端子、マイク入力端子
最大外形寸法:	(約)幅270×奥225×高150mm
質量:	(約)1.9kg (本体のみ)
付属品:	電源コード、取扱説明書 (本誌)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。お読みいただいた後は、大切に保管してください。

保 証 書

本商品が故障した場合には、下記に必要事項をご記入の上、弊社にお送り頂くようお願い致します。
尚、この保証は次に明示した期間、及び条件のもとにおいて無料修理あるいは交換をするものです。

商品名	CDラジオカセットレコーダー／プレーヤー　商品番号:CD-307
保証期間	お買い上げ日から1年間
お買い上げ日	平成　　年　　月　　日
お買い上げ店	
お客さまご住所	〒 電話番号
お客さまお名前	
故障の症状	

[無料保証規定]
・ 正常な状態(取扱説明書に従った状態)で故障した場合には、本体商品を無料で修理又は交換させていただきます。
・ 保証期間はお買い上げ日より1年間となります。
・ 故障の場合は本保証書に状況をご記入いただき、商品と一緒にお送りください。
・ 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、損傷は保証の対象外となります。
・ お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷は保証の対象外となります。
・ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、指定以外の電源(電圧、電流、周波数)による故障および損傷は保証の対象外となります。
・ 保証書にお買い上げの年月日、お買い上げの販売店名の記入がない場合は保証の対象外となります。
・ この保証書は日本国内においてのみ有効です。
・ この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※本保証書は保証規定により、無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※お客様の個人情報は、商品に関するご質問や故障の際、お客様と連絡を取るためにのみ使用するものです。
※商品の仕様および外観は、製品の性能改善等のため予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。
※本保証書はお客様のご購入の証明になりますので、販売店・日付が入った書類等、購入履歴が分かる控えと一緒に大切に保管してください。
※本製品は一般家庭用に設計されておりますので、業務用でご使用された際の不具合に関しては、保証の対象外となります。

輸入・総発売元
株式会社　クマザキエイム
〒222-0013 横浜市港北区錦が丘12-17
TEL:045-401-7486 FAX:045-435-0057
E-mail:info@kumazaki-aim.co.jp
URL: www.kumazaki-aim.co.jp

201005